

雪山に行けるのも最後かもしれないと参加を決めました。それに、0さんの案内は無理のないコースと速度で安心できることもあって…。

この日、北陸や湖東では大変な積雪であったようですが、鈴鹿山系は案外少ない雪でした。それでも、頂上に近くなると一面真っ白の世界が。固くなった古雪に新雪が積もって、歩き易いこと。アイゼンもよく利いて、久々に雪の上を歩く感触を楽しみました。

スキー場なら上級者用ゲレンデと言えるほどの急斜面があって、「帰りはここをソリで滑りますよ。」といつもの淡々とした口調で0さんが言う。冗談か本気か分からないが、「まさか！無理、無理」とつぶやいてしまう。結局、帰りにここを下るときには、横歩きで下ることを教えてもらいました。ソリで下りようという命知らずは一人もいなかったのです。

昼食時に少しソリ遊びもできましたし、まるで白馬の大雪渓か針ノ木雪渓かと思えるほどの急斜面を下りるという体験もできて、大満足の日でした。

直前でのコース変更などのご苦勞の中、全員のソリまで用意して下さった0さん、ありがとうございました。



新田辺駅6時30分出発 椿大神社登山口までの道中は晴れたり曇ったりで終日こんな一日でこの時期の天気では良ししなければと自分自身に言い聞かせ北尾根コースより登山に臨む。

少し気になったのは登山の途中で時々吹く突風であった。9合目あたりの積雪は3~40cm有ったと思われるが頂上付近には森林等風よけも無くフラットな場所で積雪が見られない。多分新雪は強い風で飛ばされたのだろう。個人的には風で背を押され転んでしまう有様で立っている事も出来ない風に雪山登山の厳しさを体感させられた。

頂上より少し移動した所で風を避けて昼食もあまりの寒さに体全体が かじかみ 余裕なし。

1月10日綿向山雪山登山時の天気とは天と地の違い。再び綿向山の快晴無風の雰囲気を体感出来ればとの甘い考えが あだ になる。

下山も決して楽ではなく吹き溜まりの谷の合間である井戸谷コース。しっかり積雪あり白馬岳雪渓を狭くして急勾配のイメージ。ソリで安楽下山の夢ははかなく遠のく。

アイゼン効果も少なく何度か滑りながらやっとの思いで下山する事が出来た。雪山登山参加時の心構え、訓練、経験の重要性を改めて感じた次第。今回は本当に厳しい冬山登山であった。

小生、下山時全く気持ちのゆとり無くただひたすら下山も、CL小川さんこの悪コンディションにも関わらず雪山登山とソリ体験が少ない方々へのサポート 配慮敬服致しました。

ご参加の皆さん無事に下山出来本当に良かったですね。

次回は楽しい雪山登山に参りましょう。お疲れ様でした。



一口感想文

中田繁男

冬の入道ヶ岳は初めて参加しました。麓の椿大神社があんなに規模が大きく若い人からも人気スポットとは知りませんでした。

神社を抜けて北尾根ルートから登ることになり、途中までノーアイゼンでした。斜面の半凍解状態シャベットにスリップを注意しながらの登りです。途中で装備した12本爪アイゼンが雪の無い所の登山道で分解！慌てて6本爪アイゼンに交換して進んだ。

アセビのトンネル道でやたら頭や顔が枝に当たり負傷者有、這って進むところが出てきて、汗かく所が多くなった。アセビの中に雪が一面に多くなり風が少しずつ強くなる。

北尾根を進んでいきなり強風に煽られ、立ってられない位の台風並みの風に遭遇した。山頂部は陰のない鳥居があるだけで冷たい風が真ともに吹き付け、早々に退却です。

下山はササ原下部の殆ど垂直な壁を井戸谷に下るようです、当初はここをソリで降りる予定ですが、今日はとてもムリな状況です。CLの指示で急勾配をアイゼンで歩くことになりました。ザラ目の雪がモーグル斜面のようで、アイゼンの爪がブレーキでうまく降りられた。

振り返ると白馬大雪渓にいるような感覚になった。不思議な体験です。

今回は冬山で最も寒い体験でもありましたが、楽しい一日でした。



椿大神社の奥宮の鳥居

一口感想文

木田修司

前日の天気予報では、「大陸から強い寒気が一気に流れ込み、広い範囲で平年より気温が低くなり、冬型が強まることによる大雪にも注意が必要」とあり、直前に中止の連絡を心配しながら装備の準備をした。久しぶりの雪山と購入したアイゼンの初使用で多少の不安はあったが、CLさんからの充実した事前資料によって、コースの確認と各ポイントの標高・高低差などを知ることで、現地での余裕に繋がり、事前準備の大切さを再認識した。

下山道の井戸谷コースの積雪は想像以上だったが、余りにも急勾配で尻ソリは楽しめなかったが、飛び跳ねながらの下降を童心に帰って楽しむことができた。

歩行中や車中では、これまで体験した登山上のアドバイスをたくさんいただき、今回も貴重な山行となった。

経験豊富なCLさんの適切な指導の上に、車の運転までしていただきありがとうございます。



一口感想文

秋山正子

ひさしぶりの山行で霧氷がみたいなどと参加させていただきました。

奈良には雪がなく、小川さん、いろいろご苦労されて探して下さったと思います。

入道ヶ岳は知らなかったのですが、かなりの強風と寒さで緊張しました。

そして下りも急こう配でスリリングでした。せっかく用意して下さって尻ソリも出番がありませんでしたね。

次回、また、計画してください。楽しかったです。



一口感想文

玉置安世

入道ヶ岳は行った事がなかったので行きたい山の一つでした。

またまた怪しい低気圧がきてヒヤリとしましたが、時々粉雪は降るもののいい天気でした。雪が積もってないけどなかなか斜度の樹林帯。

雪がでてきていよいよアイゼンの出番。ますます足が重い。稜線にでると立ってられないほどのすごい風。山頂はすごく寒い。でもそこから見る鎌ヶ岳がかっこいい。

下山はお楽しみみのそりです。ここを下りるんだよと。ひゃ~これは急すぎる。スキーの上級者コースのように歩いて下るのも緊張です。斜度も落ちてきたので一滑り。

この日の為に遠いところまでソリを買いに行ってお下さったCLさんありがとうございます。次回使います。

今でも雪の光景が目に浮かびます。

運転して下さった方々ありがとうございます。またそりを使える雪山お願いします。



一口感想文

蒲田 史

頂上付近に近づくにつれて積雪が多くなり、雪を踏みながらアセビのトンネルの中を歩くのはとても楽しく、気持ちがよかったです。そして、頂上へ出ると、展望が開けます。御在所岳、鎌ヶ岳が見え、伊勢湾も望める、360度の最高の展望です。が、あまりの強風で飛ばされそうな怖さと寒さで、早々に木々の中に入りました。

下山は雪の積もった急斜面を下り、少し緩やかになったところでソリを使いました。コントロールできずに迷惑かけてしまいましたが、とても面白かったです。今回はほんのちょっとでしたが、またのチャンスを楽しみにしたいと思います。楽しい雪山に連れて行ってくださり、ご一緒してくださり、ありがとうございました。

